

会議録 (要約版)

会議の名称	平成29年度第1回弘前市上下水道事業経営審議会			
開催年月日	平成29年5月30日(火)			
開始・終了時刻	午前9時30分から 11時まで			
開催場所	弘前市役所岩木庁舎2階「会議室3」			
議長の名	弘前大学人文社会科学部教授 飯島 裕胤			
出席者	会長 飯島 裕胤	会長職務代理者 齊藤 嘉春	委員 村上 照彦	委員 村上 照彦
	委員 佐々木 薫子	委員 三上 久志	委員 溝江 初子	委員 溝江 初子
	委員 福士 稔	委員 杉沼 仁恵		
欠席者	なし			
事務局職員の名	上下水道部長 加藤 和憲	上下水道部参事 佐藤 嘉哉	総務課長 大高 重文	工務課長 山上 信俊
	上水道施設課長 坂田 一幸	下水道施設課長 目賀田 年昭	総務課長補佐 木村 勲	総務課長補佐 竹内 伸幸
	工務課長補佐 棟方 勝雄	上水道施設課長補佐 赤石 巧	下水道施設課長補佐 工藤 博幸	工務課総括主幹 小野 敦弘
	総務課主幹 千葉 裕朗	総務課主幹 古山 潤	工務課主幹 寺山 敏彦	総務課経理係長 對馬 剛
	総務課計画係長 相馬 孝康	総務課主幹 中村 洋幸	総務課総括主査 齊藤 智子	
会議の議題	(1) 平成29年度予算について (2) 多子家族上下水道料金支援事業について			
会議資料の名称	資料1-1 平成29年度水道事業会計予算の概要 資料1-2 平成29年度下水道事業会計予算の概要 資料2 多子家族上下水道料金支援事業			
会議内容 (発言者、 発言内容、 審議経過、 結論等)	<p>1 開会</p> <p>2 上下水道部長挨拶</p> <p>3 会議</p> <p>(1) 平成29年度予算について 平成29年度予算(水道事業会計及び下水道事業会計)について、総務課長より説明。 意見、質疑応答は以下のとおり。</p> <p>福士委員 資本的収入および支出について、収支不足額が毎年発生しているようですが、収支不足額を補てんする補てん財源が枯渇するということはないのですか。</p>			

総務課長

毎年度発生している減価償却費等が補てん財源となっております。枯渇することはないと考えております。

福士委員

財政計画については十分に検討されていると思いますが、今後も多額の補てんをしないと事業運営が難しいのでしょうか。

総務課長

資本的支出については、老朽管の更新など、施設の整備に必要な財源を確保する必要があると考えております。

杉沼委員

下水道の未整備地区はどれくらいあるのですか。

工務課長

進捗率は97.5%です。平成32年度を目途に整備を進めております。

飯島会長

企業債の残高はどうなっていますか。

総務課長

水道事業会計は約159億3500万円、下水道事業会計は約431億6700万円ありますが、順当に償還しております。

飯島会長

今後は、企業債の状況について、資料への記載をお願いします。

上下水道部長

今後お渡しする会計資料については、企業債の状況について記載します。

(2) 多子家族上下水道料金支援事業について

多子家族上下水道料金支援事業について、総務課長より説明。
意見、質疑応答は以下のとおり。

佐々木委員

周知手段として、ホームページを活用しているとのことですが、どれくらいの方がアクセスしているとか、把握できるのですか。

総務課長

ログ解析等はしておりません。

佐々木委員

せっかくの支援事業ですので、多くの方に見ていただけるように、工夫していただければと思います。また、市内の民間企業など巻き込んで事業を推進してみてもはどうでしょうか。

上下水道部長

本日、商工会議所から推薦いただいている齊藤委員がいらっしゃいますので、後ほどパンフレットなどを準備して、ご協力をお願いしたいと思います。

佐々木委員

想定対象世帯のうち、ひろさき多子家族応援パスポートを持っている世帯はどれくらいあるのですか。

上下水道部長

パスポートを所持している世帯数は把握しておりません。申請受付期間中、継続して周知活動をします。

村上委員

この事業は、今年度限りのものですか。

上下水道部長

財源を確保できる見込みがあれば継続していく予定です。

村上委員

住民台帳などと連動して、自動的にもらえる仕組みにできないものですか。

総務課長

個人情報保護の問題で難しいので、(パスポートを発行している)子育て支援課と連携をとり、申請を増やしたいと思います。

杉沼委員

自宅にパソコンがない家庭もあると思いますので、対象者にハガキなどでお知らせすることはできませんか。

総務課長

上下水道部では対象世帯を把握できないため、幼稚園、保育施設、小

学校、中学校、高校に、生徒の人数分チラシを配布して周知する対応を
とりました。

三上委員

この支援事業は、地域住民として歓迎したいと思います。今月配布され
た広報ひろさきに案内が掲載されていましたが、私の周りでは話題に
なっていました。市全体で、このような子育て支援事業をどんどん展開
していただきたいと思います。

飯島会長

申請が増えるように、例えば、検針票に、最大でもらえる金額の
24,000 円を打ち出したほうが、市民に分かりやすく伝わると
思います。どうでしょうか。

上下水道部長

あくまでも水道料金等を納めた月の分だけの交付ですので、誤解され
ないような表示をしました。

飯島会長

インパクトも大事だと思いますので、最大 24,000 円という部分が目
立つように、表現方法を工夫していただきたいと思います。

上下水道部長

参考資料として、幼稚園から高校生まで、生徒全員に配布したチラシ
(兼申込用紙) を委員の皆様にお配りします。

齊藤委員

対象世帯が市内に 1,928 世帯あるというデータを管理している部署
に周知を依頼することはできないのですか。

上下水道部長

現状では、全面的な協力を得るという段階には至っておりませんの
で、今後、子育て支援課と協議したいと思います。

齊藤委員

今後は、弘前市への移住を促す意味をこめて対外的、全国的な PR も
大事だと思います。経費の問題があるとは思いますが、メディアを活用
して PR してはいかがでしょうか。

上下水道部長

メディアの関係ですと、コミュニティ FM を活用して PR を続けると

ころから始めたいと思います。

飯島会長

この事業は、年間約 4,000 万円、10 年続けるとすれば、約 4 億円かかりますが、4 億円あれば、水道の施設整備に費やすこともできる中で、あえて本事業に予算を使う趣旨はどのようにお考えでしょうか。

上下水道部長

公営企業として、本事業にかける予算は投資でなければならないと考えています。短期的な回収は難しいですが、将来の人口減少抑制による収益確保につながる一つの糸口になればと思っております。財源については、施設整備等の予算を削るのではなく、包括業務委託によって節減できた経費をもって、本事業を継続していきたいと思っております。

飯島会長

包括業務委託によって浮かせた財源を多子家族支援に充てるということですが、実際それで出生数の増加につながるかというと、正直厳しいと思います。移住促進についても、インパクトとしては弱いと感じますので、財政事情と住民福祉のバランスを考えて、今後のことはシビアに検討していただきたいです。

4 報告

(1) 弘前市上下水道部の組織改編について

平成 29 年 4 月 1 日からの弘前市上下水道部の組織体制について、総務課長より説明。

意見、質問は無し。

(2) 包括業務委託について

上下水道事業包括業務委託の概要、効果指標、今後の進め方について、総務課長より説明。

意見、質問は無し。

(3) アセットマネジメントについて

アセットマネジメントについて、28 年度の業務報告、29 年度の業務計画を工務課長より説明。

意見は下記のとおり。(質問は無し。)

飯島会長

いわゆる団塊世代が亡くなるのが、2,035 年頃に集中し、そこから先は、今よりも莫大な更新費用がかかっていくことは、今後議論する上で

	念頭に置いておくべきだと考えます。 5 閉会
その他必要事項	<ul style="list-style-type: none">・ 会議は公開。・ 傍聴者は1名。・ 報道機関取材は1社。